

教育学類

- 人間形成系列
- 教育計画・設計系列
- 地域・国際教育系列
- 学校教育開発系列



2016

College of Education
School of Human Sciences,
University of Tsukuba



目次

| | |
|-----------------|-------|
| ようこそ教育学類へ | 2 |
| 教育学類のミッション | 3 |
| 履修の進め方と授業科目 | 4 |
| 系列紹介Ⅰ：人間形成系列 | 5 |
| 系列紹介Ⅱ：教育計画・設計系列 | 6 |
| 系列紹介Ⅲ：地域・国際教育系列 | 7 |
| 系列紹介Ⅳ：学校教育開発系列 | 8 |
| 卒業生の言葉 | 9 |
| 教員紹介 | 10 |
| キャンパスライフ | 11-12 |
| 卒業後の進路 | 13-14 |
| 教育学類Q&A | 15-16 |
| 入試の仕組み | 17 |
| 教育学類へのアクセス | 18 |

ようこそ教育学類へ

我が国の歴史をひもとくと、教育という言葉が用いられるようになったのは江戸時代からだといわれています。しかし、その言葉の意味する大まかな内容は、おそらくもっと古い時代から人々の生活の中で知られていたはず。また、我が国では、教育という言葉と同一視されやすい学校という言葉も、それなりに古くから使われてきましたが、わたしたちがイメージするような学校は、明治時代から始まりました。

明治政府は、日本を近代化するための方策の一つとして、近代的な学校を設立しました。その先駆けとして、1872(明治5)年に、まず教員を養成するために、日本初の師範学校が東京の JR 御茶ノ水駅の近くに設立されました。この学校こそが、筑波大学のルーツです。筑波大学は、東京高等師範学校や東京教育大学などと名前を変えながらも、およそ 140 年にわたって確実に日本の教育界をリードしてきました。それゆえに、現在でもなお、国内外からの「教育の筑波」や「教育学の総本山」という評価と期待は何ら変わっていません。

その中核的な位置を占めてきた組織は、東京教育大学教育学部教育学科を受け継いでいる筑波大学人間学群教育学類です。したがって、本学類は 2007 年に新しく誕生した組織ですが、ルーツを探ってみると、驚くような長い歴史と伝統をもっているのです。そうであるからといって、わたしたちスタッフは、古いものに執着して新しい改革を

怠ってきたわけではありません。必要に応じて、これまでさまざまな改革を行ってきました。たとえば、2012 年度からは、希望者には、小学校教員免許状を取得できるように学びの場を変革しました。

このような学びの場で自分なりの「宝物」を探して、これまでの自分をさらに磨いてみてはどうでしょうか。そのことによって、卒業の時には、もちろん学校や教育関係分野の中ですぐに活躍できるようになれるでしょうが、もし事情が許すならば、さらに教育学関係の大学院に進学して専門性を深めることも積極的に考えてもらいたいです。それだけの教育環境はそろっています。その点は、多くの卒業生が学校の教員をはじめ、社会教育機関や教育行政機関、さらには教育関連企業などで活躍していることに顕著に現れています。特に、教育学関係の専門分野では、本大学院出身の大学教員数は、日本の大学の中ではトップクラスです。

そのようなところで、教育学を学んでみませんか。我が国の近代的な教育の変遷と軌を一にする本学類の歴史に、あなたたちの活動によって新しいページを付け加えてみませんか。それとともに、未来の希望や夢を追い求めながら自分自身を成長させてみませんか。わたしたちスタッフは、みなさんの入学を心よりお待ちしております。

教育学類長
筑波大学教授 吉田 武男

教育学類の2つのコースと4つの系列

教育学類では、総合的な教育学を構成するさまざまな研究領域のつながりを考えて、2つのコースと4つの系列を提案しています。

2年次になると、小学校教員免許状の取得を強く希望する学生は「初等教育学コース」に所属し、そうでない学生は「教育学コース」に所属することになります。「初等教育学コース」に所属する学生は、「学校教育開発系列」に含まれる、小学校教員免許状の取得に必要な科目の授業を集中的に学びますが、「教育学コース」に所属する学生は、「人間形成系列」「教育計画・設計系列」「地域・国際教育系列」「学校教育開発系列」という4つの系列の中から、特に関心のある系列を1つ選び、その系列に含まれる授業を集中的に学びます。どちらのコース・系列の場合でも、学ばれた知識・技能を活かし

て、学生は4年次に、卒業研究をまとめていくことになります。

また、すべての学生は、4つの系列に含まれる科目を、必ずいくつかは履修しなければなりません。なぜならば、1つの系列のみの知識・技能を習得することよりも、教育学に関する知識・技能を全般的に学ぶことの方が、教育に関連した優秀な理論家・実践家となるには有効であると考えているからです。

教育学類の学生には、個人の専門的な研究関心を深めることと同時に、「教育学」という学問をさまざまな観点から学ぶことが求められるのです。



Takeo Yoshida

教育学類のミッション

新たな学群・学類

—「人間学群・教育学類」の誕生—

筑波大学は、2007年4月に、学群・学類を新たにしました。それまで「第2学群・人間学類・教育学専攻」と呼ばれていたものが、「人間学群・教育学類」として新しく生まれ変わりました。

筑波大学は、創設以来、従来の制度にとらわれない新しい構想の下に大学づくりに取り

組んできました。その象徴的な取り組みの一つが、学部で代わる教育組織である「学群・学類」という考え方です。筑波大学では、このような特色をさらに発展させ、教育内容の一層の充実を図るために、学群と学類の再編成を図ることにしました。

「教育学類」の特徴

こうして生まれた新しい学群は、全部で9

つになります。「教育学類」は「人間学群」の中に含まれます。人間学群は「人間の発達や形成に関わる学問分野を対象とする学群」という使命を持って、「教育学類」「心理学類」「障害科学類」の3つの学類をつくり、学類相互の連携を大切にしています。したがって、教育学類の学生は、教育学・心理学・障害科学の3つの学問領域を学際的に学び、人間の発達や形成に関する総合的な知識・技能を習得することが期待されています。

達成すべき水準

人間に関する総合的な知と教養

複雑化・高度化する現代社会を見据えた確かな人間理解のために、教育学と心理学及び障害科学の基礎を包括した、学際的・総合的な知と教養を身に付けます。

教育に対する幅広い学識と体系的な見方・考え方

教育事象に対する鋭い問題関心と教育学全般についての幅広い学識を身に付け、教育事象についての総合的かつ体系的な見方・考え方を学びます。

教育専門家的資質

教育問題に対する理論的思考と現場体験との交流・融合を通して、教育学の専門知識を実践に生かし、実践を豊かに展開する能力を發展させ、学校、地域、国・自治体、企業、国際機関などの様々な「教育の現場」で必要とされる教育専門家としての資質を培います。

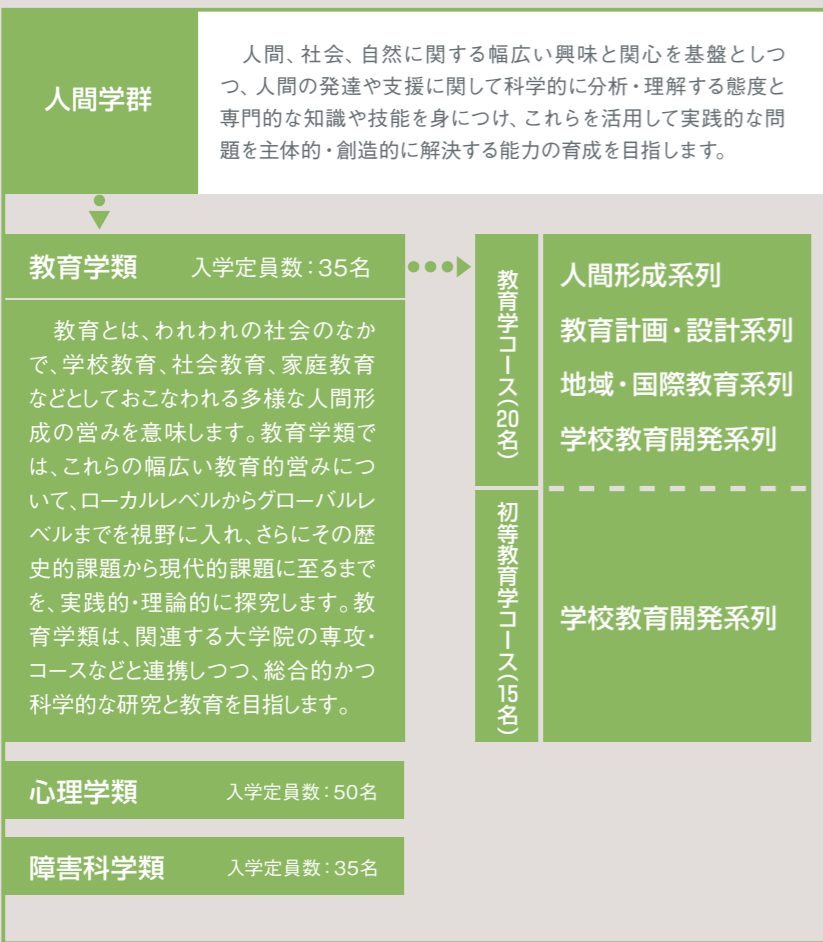
教育学の基礎的研究能力

教育に関する研究課題を設定し、史資料やデータを収集・分析しながら、説得力ある一定の結論を導く実証科学的思考力とともに、その成果を的確にプレゼンテーションする表現能力を培い、将来的に教育学研究の第一線を担う人材としての基盤を育成します。



教育学類オリエンテーション

4年次には各自が様々なテーマで卒業研究に取り組みます。仕上がった論文は厳正に審査され、優秀な論文を書いた学生は学群長表彰の対象となります。



平成26年度卒業論文優秀者

履修の進め方と授業科目

筑波大学は創設当初より、教養課程と専門課程というような区別を設けず、教養教育的な科目（「基礎科目」と専門教育的な科目（「専門基礎科目」「専門科目」）を有機的に連携させた教育課程（カリキュラム）を編成しています。

1年次の授業科目は、「基礎科目」と「専門基礎科目」が中心です。「専門基礎科目」は「人間学群共通科目」と「教育学類共通科目」に分けられますが、このうち1年次に履修するのは主に「人間学群共通科目」です。そこでは、教育学に加えて、心理学と障害科学という人間学群に属する他の学問分野を学ぶことができます。また、2年次になると、「教育学コース」と「初等教育学コース」に分かれて、「教育学類共通科目」と「専門科目」を履修することになります。2年次に履修する授業は、1年次に履修する授業と比べると専門性が高くなるのが特徴です。また、「教育インターンシップ実践演習」や「教育学研究法」のように、さまざまな体験を通して、教育学を実践的に学ぶことができます。そして、3年次には「専門科目」を履修することで、教育学を専門的に学ぶ機会が増大します。先に教育学類には4つの系列があることを説明しましたが、3年次には4つの系列の授業を全般的に学ぶとともに、特に関心のある一つの系列の授業を集中的に学ぶこととなります。こうして身に付けられた教育学の専門的知識が、4年次に取り組むこととなる「卒業研究」の基礎となります。

これ以外に、教職免許を取得する学生は、「教職科目」を履修することになります（ただし、小学校教員免許の取得を目指す学生は、原則として2年次に「初等教育学コース」に所属したうえで履修することになります）。教職免許に必要な「教育実習」は、筑波大学の場合、4年次に行うこととなります（小学校教員免許の場合、原則として3年次に行う）。また、社会教育主事の資格を取得する学生は、「社会教育主事科目」を2年次・3年次に集中的に履修することになります。さらに、筑波大学には、学生が人間学群・教育学類という垣根を越え、他の学群・学類の授業を自由に履修できるという特徴があります。これが、「その他」の科目です。

大学の授業は、高校時代とは異なり、学生の主体性が基本となります。自ら学ぶことを通してのみ、学問の奥深さと面白さを学ぶことができるのです。

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | | |
|-----------|-------------|-------------------------|-----------------------|-----|---|---|
| 基礎科目 | 総合科目A | 総合科目A | | | 学群・学類の教育目的に沿って編成される教養的科目 | |
| | 総合科目B | | | | 新入生に対し、最初の学期に実施するフレッシュマン・セミナー | |
| | 体育 | 体育 | | | 健康管理及び体力増進を目的とする科目 | |
| | 第1外国語 | | | | 外国語の実用的能力の養成を目的とする科目 | |
| | 第2外国語 | | | | 外国語の入門的・基礎的な学習を目的とする科目 | |
| 人間学群共通科目 | 情報処理 | | | | 情報科学に関する基礎的な能力の養成を目的とする科目 | |
| | 教育基礎論 | | | | 教育学の入門科目 | |
| | 学校の経営・制度・社会 | | | | | |
| | 心理学I又はII | | | | 心理学の入門科目 | |
| | 障害科学I又はII | | | | 障害科学の入門科目 | |
| | キャリアデザイン入門 | | | | 卒業後の進路(就職)を考えることを目的とする科目 | |
| | 専門基礎科目 | 教育インターンシップ基礎論 | | | | 教育現場における実践的な活動を行うための準備科目 |
| | | 教育インターンシップ実践演習 | | | | 教育現場における実践的な活動を行う科目 |
| | | 教育学研究法I | | | | 教育学・教科教育学の基礎的領域における文献研究を行う科目 |
| | | 教育学研究法II | | | | 教育事象を調査によって実証的に研究するための知識・技能を習得する科目 |
| 教育学研究法III | | | | | 教育学研究における実験・観察研究法について検討する科目 | |
| 教育学研究法IV | | | | | 教育学の文献講読を通して、英語の読解・表現力を高める科目 | |
| 教育学実践演習 | | | | | 卒業研究につながる科目 | |
| 卒業研究 | | | | | 4年間の学習の成果を卒業論文にまとめる科目 | |
| 専門科目 | | 〈人間形成系列〉 | ●教育学コース 概論・演習・実践演習 | | | 4つの系列の授業を全般的に履修するとともに、特に関心のある系列の授業を集中的に履修する |
| | | 〈教育計画・設計系列〉 | 概論・演習・実践演習 | | | |
| | 〈地域・国際教育系列〉 | 概論・演習・実践演習 | | | | |
| | 〈学校教育開発系列〉 | 概論・演習・実践演習 | | | | |
| | 〈学校教育開発系列〉 | ●初等教育学コース 概論・演習・実践演習 | | | | |
| 教職科目 | | 教育実習を含む | 教育実習を含む | | 教員資格を得る上で履修を定められた科目 | |
| | 社会教育主事科目 | | | | 社会教育主事資格を得る上で履修を定められた科目 | |
| その他 | | | | | 教育学類の履修に関連して周辺領域から履修できる科目および幅広い教養を身に付けるために履修できる他学群・他学類の科目 | |

教育計画 設計系列



明治期の教科書『新編修身教典 尋常小学校用』1900年(日本教育史調査室蔵)



教育政策に関する報告書類

人間形成系列において、学生は教育に関する基礎を学ぶことができます。その中には、教育哲学・日本教育史・外国教育史・道徳教育・キャリア教育学という分野があります。

現在、この系列の授業のなかには、主に、世界や日本の歴史をさかのぼって、学校というものがどのように成立・展開してきたのかを考えたり、今日の教育のあり方を導いた偉大な人物の足跡・思想をとらえなおしたりする授業が開講されています。より具体的に言うと、前近代を中心とする日本教育史の全体像、近代を中心とする日本教育史の歴史像、クラス・カリキュラム・一斉教授の思想と歴史、シュタイナー教育の人間形成、諸外国の道徳教育の諸相、古代ギリシャの哲学やソクラテスの教育思想、などを内容として取りあげています。このような内容を学ぶことで、教育学の基礎的知識が習得されるのです。

この系列のなかで卒業研究をまとめることになれば、教育の本質や原理を考える基礎的教養が身につくために、学界や教育界などの多様な分野への進路選択が期待されます。

授業や学級活動、学校行事など、学校における学習の場は、さまざまな組織や制度に支えられて成り立っています。たとえば6・3・3制や学校の中での学年や学級(クラス)という仕組みがあります。また、学校の教育活動が効果的に行われるために学校では教職員の協力体制や父母・地域住民の参加の仕組みが作られ、自治体の教育委員会は教職員人事や学校への指導を行ったり、予算を配分したりしています。国はこうした活動のための法制度を整備したり、補助金などを通じて支援したりしています。

教育計画・設計系列では、学校教育をデザインし、支援する活動について研究します。教育の制度、行財政・法制、学校の組織・経営について、理論や歴史、日本や諸外国の制度や実践から学びます。そして、これからの学校教育のデザインと支援を開発・提言・実践できる人材育成します。



人間形成系列

系列紹介Ⅰ

在校生からのメッセージ

鈴木 俊之介

教育学類の学生は将来はみんな学校の先生になったり、教育学の研究者になる人が多いと考えている人がたくさんいると思います。しかし教育学は、将来の進路に関わらずあらゆる視点でもものを見ることができかけをくれる学問だと思います。その中でも人間形成系列の授業では、教育史や教育思想を学びながら教育学の本質や理論といった基礎的知識を学ぶことができます。さらに、先人たちの様々な考え方は現在の教育問題について考えていくうえで新たな視点を与えてくれます。さらに授業以外の時間でも素晴らしい先生方や学生と楽しく過ごすことができます。ぜひみなさんと教育学類で会えることを楽しみにしています。



卒業研究の例

- コメニウス汎知学の再検討
—『学校の改革』(1642)の分析を中心として—
- 乙竹岩造は「能力」をどう問うたか
—日本教育史研究への移行に着目して—
- 飯村丈三郎の教育論に関する一考察
—1880年代の茨城県会会議録の分析を中心として—
- 福沢諭吉の教育思想に関する一考察
—ナショナリズムに注目して—
- 初期コールバーグ道徳教育論に関する一考察
—インドクトリネーション批判に焦点を当てて—
- ヘルバルトのヘーゲル「エンチュクロペディー」の批評について
- プラトン「国家」における音楽と体育における幼少期の教育論
- バウハウスの再評価に向けて
—1900年前後の芸術運動の分析を中心として—
- Death Educationの必要性と可能性
—子どもにいのちを教える意義—
- 「書く」ことの教育史的考察
—知のあり方との関わりにおいて—

開設授業科目の例(平成26年度の場合)

- 〈講義科目〉
教育哲学：教育とは何であるか、人間にとっての意味、教育の目的、方法、可能性について論じる。
日本教育史：時代状況と関連づけながら、近代以降「教育」に枠づけられる、人間形成の展開・構造・特質を探究する。日本の「学校」の位相を中心に、専門的な論文や資料を用いて検討・考察する。
アジア教育史：文献の講読を通して、アジア教育史に関する基礎的な研究成果を学ぶ。
- 〈演習・実践演習科目〉
道徳教育論演習：現在の日本の教育現場で知られている道徳教育の諸理論を取りあげ、その特徴を問題点について具体的に検討し、討議する。
外国教育史演習：西洋教育史および教育思想史に関する古典および研究書(論文)の読解を中心に授業を進め、相互討議のなかで問題意識と歴史認識を深めていく。

卒業研究の例

- 小学校学級担任と校内の多様な人材との関わり効果に関する研究
- 総合大学における教職志望学生の進路選択のプロセスに関する研究
—3・4年次生と大学院生のインタビューを通して—
- 自律的学校経営の時代における教育委員会の学校支援の現状に関する研究
—市町村教育委員会と学校とのコミュニケーションに着目して—
- 中学校における保護者及び地域住民との連携の意義に関する研究
—新設された地域運営学校の事例分析を中心として—
- 学校建築の変容と授業改善の関係性についての一考察
—教科教室型校舎の中学校の事例分析を中心として—
- 「小バプロブレム」の解決方法に関する研究
—新聞記事の分析を通して—
- 女性教師が校長になりゆくプロセスにみる「転換」に関する研究
—小学校女性校長のライフヒストリーの分析を通して—
- アメリカのフリースクール運動におけるデモクラシーの展開
- 山形県の少人数教育施策における教師の意識変化に関する研究
—授業改善に対する意識に注目して—
- 日の丸・君が代問題における政策変容に関する一考察
—東京都を事例として—

開設授業科目の例(平成26年度の場合)

- 〈講義科目〉
教育制度論：今日、さまざまな教育改革が行われているが、ではどのような学校教育が望ましいのか。本講義では、「学校教育制度をつくってみる」という観点から、学校教育を構成する主要な制度的要素を取り上げ、現行制度の根拠とその改革の可能性を検討する。
教育法論：学校教育と教育行政に関わる法規の概要と改正動向を明らかにし、学校や教育行政にどのような対応が求められているのか。どのように学校教育の改革が進められようとしているのかを把握する。
比較学校経営論：日本、イギリス、オーストラリア等の学校経営の政策と実践について検討し、今後の学校経営改革の在り方を考える。学校経営の比較を行い、学校経営に関する国際的視野を育成する。
- 〈演習・実践演習科目〉
学校経営論演習：学校をよりよくしていくとはどういうことか?よりよい学校を創造するうえで「組織」「経営」という概念で括られる諸条件はどのような機能や意味をもつのか?そしてどのようにあるべきであり、実際にはどのようにありうるのか?—これらの問いを中心に据えて、文献読解、受講者自身の調査と発表、討議、そして学校訪問調査などを織り交ぜながら進めていく。

在校生からのメッセージ

原田 憲一

みなさんが受けている教育は、多くのことが国によって制度として定められています。小学校、中学校、高校で学んだカリキュラムは学習指導要領によって定められています。学校のクラスの数、クラスの人数の上限、さらに高校や大学に入学するための入学試験のあり方についても国が定めています。あまり意識することはないかもしれませんが、国が定める教育制度は私たちに与えて身近なものなのです。しかし、どのような教育制度であっても、欠点のない完全なもの

ではなく、現在も学校では様々な問題が起こっています。では、そのような問題を解決するためにはどうすればいいのでしょうか。この問いの答えを出すためには、現在の社会状況や教育を受ける子どもの実態を考えたうえでよりよい教育制度はどうあるべきかを考えることが重要になります。そしてそれは、最終的に未来の教育がどうあるべきかを考えることにつながります。このような教育制度を考えることができるのが教育計画・設計系列です。みなさんも一緒によりよい教育について考えてみませんか?

地域・国際教育系列

教育とは、学校、地域社会、家庭など、さまざまな「場」でおこなわれている多様な人間形成の営みであるといえます。本系列では、こうした教育的営みを社会・文化とのかかわりでローカルレベルからグローバルレベルまでも視野に入れて実践的・理論的に探求する授業科目で構成されており、多様なレベルにおける教育・学習活動について幅広く理解する視点を持つという点に特徴があります。

本系列の授業科目を通じて、公民館、図書館、博物館、カルチャーセンターやスポーツ施設等の生涯学習の場で学習支援をおこなう地域社会教育の専門家、あるいは国際理解教育など国際的な場での教育支援に従事する専門家の道を目指してほしいと考えます。



フィールドワーク報告会の様子



教育実習生による授業風景(筑波大学附属小学校)

卒業研究の例

- 日系ブラジル人高校生の持つ将来展望に関する研究
—静岡県A市での聴き取り調査から—
- 教育開発援助における初等教育普遍化政策への批判的検討
—サブ・サハラ・アフリカに焦点をあてて—
- 大学生生活と「主体性」の関係性に関する研究
- 地域活動における子ども・若者の参画と学びのプロセス
- 企業による出張授業の経営的・教育的意図と課題
—銀行による金融教育を事例に—
- 現代中学生の友人関係における社会的相互行為の実態について
—「キャラ」という自己表示に着目して—
- グリーン・ツーリズムにおける食農教育の可能性に関する研究
—農村住民の教育的意図の伝達に着目して—
- 農村における「地域コミュニティ」の形成
—学習活動を通じた連帯意識の醸成に着目して—
- 育児ネットワークとしてのインターネット利用
—オンラインネットワークによる母親の仲間作りの可能性—
- 利用者の視点から見た利用しやすい公民館に関する研究
—施設面に着目して—

開設授業科目の例(平成26年度の場合)

【講義科目】
比較教育文化論：途上国・中進国の教育を中心にみる。現在の学校教育に影響する要因について学ぶ。
教育社会学Ⅰ：教育社会学は、教育に関わる社会事象を対象とし、社会学の視点と方法で研究する学問である。本講では、前半の教育者合い学基礎論ではなく「個人と社会の関係」について、後半「現代社会における人間形成」では、変動する社会のなかで人間形成の役割を担う教育のあり方について検討する。「教育」を通じて社会が個人を規定すると同時に、個人が社会を作り出しているという、両者の循環的関係を伝達することが、本講のテーマである。
〈演習・実践演習科目〉
生涯学習論演習Ⅰ：現代におけるノン・フォーマルな人間の学びについて、各種の文献講読と討議を通じて考察する。
教育社会学演習Ⅱ：文献を講読することにより、教育の社会性を「全体社会での機能・役割」と「教育に持ち込まれる社会関係」の両側面から検討する。併せて、教育を社会現象として捉えて分析・解釈していく場合のテーマの立て方、課題の設定の仕方、課題の解明の仕方を学習する。各回の授業では基調発表ののち討議を行い、各人が選んだ主題で期末レポートを作成する。

在校生からのメッセージ

池本 紗良

「教え、育む」と書いて「教育」。では何を「教え」、何を「育む」のでしょうか。みなさんが「教育」と聞いて真っ先に思い浮かべるのは学校での教育でしょう。一般的に学校での教育は、先生が国語や社会などを「教え」、児童生徒を「育む」営みであるといえます。しかし、学校での「教育」はそれだけではありません。ある先生がこのように言いました。「生徒たちは私に教える喜びを与えてくれました。私にとっては一人一人の生徒たちがかけがえない先生でした」と。つまり子どもが喜びを「教え」、教師を「育む」でもいるのです。また「教育」は学校だけに留まりません。それは気付かないだけで社会の中に広く存在しています。家庭での躾、会社での研修、

さらに地域での交流の中にも潜んでいます。そこでは「教え」るものも「育む」ものも多種多様です。このように「教育」を広い視野・様々な視点から見つめ直すのが地域・国際教育系列です。「教育」にはたくさんの希望や夢、期待がかけられています。「教育は子どもの自主性を尊重すべきだ」「教育は平等であるのがよい」という理想が語られます。確かにこうした理想は重要ですが、理想ばかり先走ってしまっても、ユートピアで終わってしまいます。現実と向き合い、実際にありのままに描き出すことも必要です。教育にはできることあればできないこともあります。みなさんも、なじみ深い一方でたくさんの謎や問題を秘めた「教育」を新たな視点から解きほぐす冒険にだけかけませんか。

系列紹介Ⅳ

学校教育開発系列

卒業研究の例

- 大学生の海外研修プログラムに関する事前・事後活動の検討
—筑波大学人間学群開設科目「国際教育協力実習」を中心に—
- 現代社会における社会科の役割
—家族に関する教材の開発を通して—
- 地域環境教育活動におけるボランティアスタッフの力量形成
—徳島県吉野川「川の学校」を事例として—
- コミュニケーション・ツールとしてのノート
—中学校運動部活動におけるノート活用方法—
- ショイクスピア人間観—道化に着目して—
- 馬の調教と「馬のウェルフェア」から観る人間の教育
—信頼関係の構築における類似性を手がかりに—
- 小学校の特別支援教育支援員の役割について
—茨城県における実態調査を通して—
- 進学高校におけるインターンシップ導入の課題と可能性
—富山県T高校を事例にして—
- 自己への攻撃性に対するソーシャルサポートの検討
—自己志向性完全主義の不適切な側面に着目して—
- 不登校への支援におけるスクールソーシャルワーカーの保護者への関わり

開設授業科目の例(平成26年度の場合)

【講義科目】
カリキュラム開発：カリキュラム開発の理論とその立場とモデルから検討し、各国の教育改革で採用されているモデルの実践について、アジア諸国を中心に資料をもとに考察する。
数学教育論：数学教育の新教育課程の目標と内容、数学の教授・学習、学力評価、教材開発等について、最新の話題を取り入れながら多面的に検討する
初等科教育法(国語)：小学校教員として、国語の授業を行ううえで必要な知識、技能を身に付けることを目的とする。具体的な教材をもとに、講義、演習を行うことができるようにする。
〈演習・実践演習科目〉
教育臨床学演習：現代の児童・生徒の問題、あるいは学校、教師、保護者、教育環境や地域社会の問題の理解、究明、援助について演習と実習を通して学ぶ。そのためテーマに関連する学術論文を受講生がレポートとし、集団討議する。また援助の技法を学ぶ。
学習指導論演習：学習指導および教育方法の諸問題について、基本文献を講読する。またVTR視聴や学校見学を通して、授業の実際についても学び、受講生の問題関心を深める。

学校教育開発系列のポリシーは、「進化する学校教育のエキスパートを育成する」ことにあります。学校は日々、児童・生徒が学習する場です。児童・生徒の成長とともに教師の関わり方は変わり、社会背景とも絡みながら、学校は進化し続けます。そんな学校教育の基礎・基本を学び、さらにそれを基盤として進化する学校教育に適応し、よりよい方向に変えていく力をもつ人間を育成することが学校教育開発系列の目指すところです。

机の上で学校教育に関する理論を学ぶことだけが重要なわけではありません。実際に学校に飛び込み、自らの目で学校教育の様々な課題を見出す。その中から自分の研究テーマを設定し、授業で学んだ理論を基盤としながら、自分の観点でそのテーマを追究していく。そうすることが、学校教育の理解をさらに深め、よりよい学校教育を構築していくことにつながっていくとわれわれは考えています。新設された初等教育学コースでは、附属小学校との連携のもと、現場に根差した実践力、研究力の育成を図ります。

さあ、あなたも学校教育開発系列で、世界を担う学校教育を極めてみましょう！

在校生からのメッセージ

稲垣 稀由

こんにちはみなさんは「学校教育開発」と聞いてどんなイメージをお持ちですか？
 「学校教育」と聞くと、学校現場のことばかり学んでいるように思いますが、実はそうではありません。この系列では、教科やカリキュラム、教授方法や臨床、ICT教育といった様々な視点から「学校」に対してアプローチしていきます。幅広い内容を学ぶことで、「学校」を色んな角度から見つめなおし、そこから新たな発見が生まれてきます。講義を聞いて学ぶだけではなく、実際に近隣の学校を訪ねたり、附属小学校の子どまと関わるなど、現場を知る機会も用意されています。
 わたしは高校生の頃に教員になりたいと思い、この学類に入学しました。実際にそう思ってこのパンフレットを見ている人も多いのではないのでしょうか？この系列には、将来教員を目指している人が多くいますが、教員になるための系列では決まていません。学校教育の基礎を学び、それらを基盤としてさまざまな方面で生きていくことが求められています。私たちが今まで過ごしてきた「学校」に潜む課題を見つけ出し、追究し、そしてより学校教育について理解を深めていく、これが学校教育開発系列の目指すものです。



川崎 真由子

「ねえ、本当にうらやましい。明日から入れ替わろう!」
 誰に言われた言葉だと思いますか？友達でもありません。これ、実は、現職の公立小学校の先生に、言っていた言葉なんです。
 初等教育学コースでは、筑波大学附属小学校の先生方から直接、教科教育法を学び、そして教育実習を指導していただくことができます。日本全国に向けて、自身の実践を発信し、教科書の制作に関わる先生方の講義には、いつも驚かされ、新たな発見を得ることができます。また、授業の一環として、附属小で行われる授業研究会に参加することもできます。実際に、先生方の授業や、子どもたちの様子を見たり、日本全国から、附属小の授業を見るために、集まった小学校の先生方とお話ししたりと、貴重な経験がすることができます。冒頭の言葉も、その時に頂きました。もちろん、初等教育学コースに所属している、学校教育開発系列の学生として、教職以外の学校教育についても、学ぶことができます。これにより、学校というものを、様々な視点から見つめることができ、自身の学校教育への理解が深まります。
 初等に関する講義は、基本的に休日にあるため、時にはつらさを感じてしまうときもあります。しかし、得られる学びには、それ以上の価値があります。



後輩達へ 卒業生の言葉

松谷 雄太【北海道教育委員会】

●平成25年度卒業

私は現在、北海道教育委員会に勤務しています。毎日、学生時代に学んだ教育の理念やしくみが現実にどう動いているのか実感する日々を過ごしています。教育といえば理想や理念が先行しがちですが、実際は財政や政治などに左右され、理想と現実の微妙なバランスの上、成り立つものです。教育行政の仕事は、そのような中、教育実践を行う人や教育実践を支える制度をサポートすることで教育をよりよくできる仕事です。

教育学類での四年間は、私にとってかけがえのない時間でした。まず、教育を学ぶのに素晴らしい環境がありました。教育学類には教育学のほぼすべての分野の専門家が揃っていますし、教員と学生との距離が非常に近く、教員の方々は一人ひとりの学生や一つひとつの疑問にしっかりと向き合ってくれます。また、仲間たちと論文やレポート作成と一緒に頑張ったり、授業やゼミで考えたことを深夜までぶつけあったりしたことは、今ではいい思い出です。

もちろん、学問を学ぶだけではありません。学類にはいろいろなことに熱中している人がいて、お互いに様々な刺激を受けあいます。私自身はというと、タイ大好き人間と学類開設の授業のおかげでタイの現地学校で日本語教師を体験することになりました。そこで得た経験は今でも大きな財産になっています。

教育に関心がある皆様、またそうではない皆様にとっても、この学類には自分を伸ばしてくれるだけの資源が無限にあります。ぜひ教育学類に入学して、思い切り学生生活を楽しんでみてください。



滝沢 千紘【法務省】

●平成22年度卒業

私は平成23年4月に法務省矯正局に入省し、現在は法務教官として働いています。法務教官とは、少年鑑別所や少年院で非行少年の更生に向けた働きかけや教育を行うことが仕事です。今の仕事を知ったきっかけは、筑波在学中、児童養護施設で学習指導のボランティアを続けた経験でした。家族関係に悩む子どもたちを前に、私もそうした子どもたちと深く関わり、力になりたいと思いました。

筑波大学教育学類で教育について幅広い視点からの講義を受ける中で、現場と行政の両方に興味を持つようになりました。矯正という分野で現場と行政の両面に携わることができることを知り、今の仕事を選びました。

いろいろな問題や課題を抱える少年と関わる中で求められるのは、人としての総合力であると感じています。筑波の地で様々なことに挑戦し、より多くの経験を積んでいってほしいと思います。



教育学類合格発表時【筑波大学新聞】より転載

佐口 美佳【静岡銀行】

●平成23年度卒業

皆さんは学校に通う中で、先生の教え方が下手だなあと感じる時はありますか？ 私はそのようなときはいつも「なぜ先生の教えたいことがうまく伝わらないのだろう?」「どうして教え方を変えないのだろう?」と疑問に思っていました。そして学校のシステムを容易には変えることのできない教師というポジションに、私はなりたくないと思っていました。

このような心境で大学に入学した私でしたが、教育学を学ぶことでこの無知なまま抱いていた反感を再考するチャンスを頂きました。学校教育が長い歴史の中で作られてきたこと。教育とは学校教育のためだけの言葉ではないこと。例えば生涯教育や家庭教育という言葉があります。学校を卒業しても人は学び続けますし、誰もが親になったら子どもを家で教育することになります。自分が知っている“教育”がいかに限定的であったかということに気づかせてくれたのが筑波大学の教育学類での学びでした。

卒業論文では、日本の公立高校定時制に通っている日系ブラジル人高校生にインタビューを行い、彼らがこれからどう生きていこうと考えているのかということを通じて聞きに行きました。ここでも自分の知らなかった学校教育の一面を肌で感じる事ができました。この4年間は本当に、自分の価値観を揺らがすものに囲まれて過ごした貴重な時間だったと思います。

卒業後は民間企業へ就職します。入学当時は想像もしていなかった進路ですが、どうしても自分の伝えたいことが相手にうまく伝わるかということを考える癖は変わらないと思います。教える、教えられるということは世の中の様々な物事に関わる現象であり、人の人生に最後まで欠かせないファクターです。それを考えることに4年間を費やすことは皆さんの人生に大いにスパイスを利かせてくれることでしょう。刺激的でユニークな人生を創る力を、この学類で養ってほしいと思います。



長久保 良太【東京都立小学校】

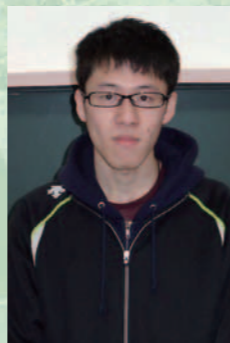
●平成22年度卒業

チャイムと同時に、おいしい匂いで教室中がおおわれる。給食の時間だ。いつも通り、子どもたちがまた全て平らげてしまうだろう。自慢の元気な子どもたちだ。

教師になって3カ月。大学で学べたことは確かにあったはずなのに、時間がたつ程にその学びと現実との間に溝ができた。そして、教育は難しいと改めて実感した。

これから学び始めるみなさんには、ぜひ多くのことを学んでほしい。教育に関係しないものなどないと思うからこそ、本当に多くのことを。そして、学ぶほどにできる現実との間の溝の中に僅かでも光を探してほしい。それが教育学において大切なことなのではないかと思うから。

これから学び始めるみなさんへ最大限のエネルギーを。教師としての先輩より。



教員紹介

| 氏名 | 研究テーマ |
|--|---|
| 教育哲学 (担当者未定) | |
| 日本教育史 平田 諭治 | 近代日本教育国際関係史 |
| 外国教育史 安川 哲夫 | 西洋教育思想史研究、教育図像の歴史研究 |
| 道德教育 田中 マリア 吉田 武男 | 道德教育、ルソーの教育思想に関する研究 道德教育、シュタイナー教育に関する研究 |
| キャリア教育学 藤田 晃之 | キャリア教育論(日・米・デンマーク比較研究)、教師教育制度論 |
| 教育行財政学 窪田 眞二 | イギリスの教育法制、学校評価、父母の教育権、学校参加法制 |
| 教育制度学 藤井 穂高 星野 真澄 | 教育改革、フランスの教育制度、幼児教育 学級規模縮小の法制的・財政的研究、教育環境整備 |
| 比較・国際教育学 佐藤 眞理子 タスタンベコワクアニシ | 途上国の教育、教育援助 言語教育政策、旧ソ連(CIS)諸国・中央アジア諸国の教育政策、ユネスコの教育政策 |
| 学校経営学 佐藤 博志 浜田 博文 | 学校経営論、オーストラリアの教育改革 学校改善論、アメリカの学校経営政策論、教師教育論 |
| 教育社会学 飯田 浩之 岡本 智周 | 高等学校教育と高校生、地域における子育て支援、博物館と博物館教育 学校の社会的機能、教育資源としての共生概念、日米の教育とナショナリズム |
| 生涯学習・社会教育学 上田 孝典 手打 明敏 | 日中の社会教育・生涯学習実践研究、近代中国の社会教育史研究 社会教育史、社会開発と社会教育、公民館の国際比較研究 |
| カリキュラム 根津 朋実 | カリキュラム評価、カリキュラム開発 |
| 学習指導学 樋口 直宏 | 教育方法学、授業研究、批判的思考論、小中一貫教育 |
| 教育工学 (担当者未定) | |
| 教育臨床学・生活指導学 庄司 一子 | 児童生徒の抱える問題、仲間関係、教師との関係、教師と生徒のメンタルヘルス |
| 人文学科教育学 甲斐 雄一郎 塚田 泰彦 | 国語教育史、言語表現論 言語教育論、読書教育論 |
| 社会科教育学 井田 仁康 唐木 清志 國分 麻里 | 社会科・地理教育の理論的・実践的研究 社会科教育学、アメリカ公民教育論 社会科・歴史教育の理論的・実践的研究、韓国の社会科教育研究 |
| 理科教育学 大高 泉 片平 克弘 山本 容子 | ドイツ科学教育思想研究、理科教育基礎論、環境教育論 理科教授学習研究、理科学習評価研究、化学教育論 理科教育、生物教育、環境教育論 |
| 数学教育学 磯田 正美 大塚 慎太郎 清水 美憲 蒔苗 直道 | 算数・数学の学習指導法の研究、数学教育の国際共同研究 数学学習における論理的思考の分析と評価 数学的思考の認知的研究、数学教育の国際比較 数学教育史 |

学

1 図書館

特に文系の学生に欠かせない知識の宝庫です。蔵書も充実しているため、利用しない手はありません。普段は寝に来る学生がいるほど静かで落ち着いた雰囲気なのですが、試験期間には必死な様子の学生をあちこちで見かけ、一味違った空気を味わうことができます。

2 講義

講義は内容や先生によって雰囲気は異なりますが、基本的に息遣いが聞こえるほど先生との距離が近く、先生方も良く面倒を見てくれます。学生は仲良く講義に出席し、期末試験ではその対策に勉強会が活発に行われます。学生はいつも先生に感謝です。

3 ゼミ

授業名で「演習」と呼ばれる少数形式の授業です。講義と違って発表や議論が中心となり、教員との距離も随分近くなるため、上級生は複数のゼミに参加することで卒業研究の指導教員探しをします。教員と気が合い、方向転換をする学生もいます。

4 海外研修

私は2年次に3ヶ月間、タイのカセサート大学附属高校で日本語クラスの補助教員をしてきました。「トイレに紙を流さない」という習慣には驚きましたが、それも含めて貴重な経験をすることができました。外国に教え子がいるという事実は今でも私の自慢です。(体験者談)



1 保健管理センター

WHOで言うところの健康を守ってくれる通称「ホケカン」です。数々の噂がありますが、その実態は健康診断をしたり、診察&薬が無料だったりと、孤独な一人暮らしの強い味方です。内科、歯科から整形外科などまで、あらゆる事態に対処可能な保健施設です。

2 自転車

南北4km、東西1kmに及ぶ広大な面積を誇る筑波大学で生活するには、自転車が不可欠となります。入学直後や試験期間は自転車渋滞が起こり、それは信じがたい光景です。そのような状況で、たまに転倒する人もいて大惨事となることも…

3 学生宿舎

各居室にはベッド、机、洗面台、宿舍電話などが備え付けられ、棟ごとに洗濯室、補食室なども併設され、約1万円。宿舎に住まわずに筑波大学を語るべからず!

4 学生食堂

「腹減った!今日はどこで食べる?」筑波大学には最近リニューアルした沢山のメニューから選べる食堂から、カフェのようなオシャレなお店、ラーメン・そば屋まで大小様々な学生食堂があります。価格はどこも学生に心強い低価格。貴方のお気に入りもきっと見つかるはず!?

暮らす

体験

1 課外活動

(芸術系サークル)

学生生活に欠かせないものの1つといえば、やっぱりサークル。筑波大学には文化・芸術系様々なサークルがあります。芸術祭や学園祭等多くの発表の場もありますが、何と云っても最大の魅力は多くの出会い。多くの先輩後輩との出会いは貴方の人生を変えるかも?

2 課外活動(体育会)

筑波の体育会は各部日本一ぐらいで施設も充実しています。よってバリバリマッチョなイメージが強いのですが、実はホンワカナ部活もあります。例えば「スキー部」。アットホームな色合いを醸し出し、冬はスキーで滑り、夏はギャグを滑らせています。

3 ボランティア

筑波にはボランティアサークルがいくつもあります。児童養護施設や知的障害者厚生施設、老人ホーム、学校でのボランティア、児童館でのボランティアなど多岐に渡ります。経験は必要ありません。百聞は一見に如かず、色々訪ねてみて下さい。

4 アルバイト

1年の秋からスタート。居酒屋→塾講師という流れ。飲食店は「まかない」が最大のメリット。でも、大学生活に慣れてからの方が、生活リズムに組み込みやすいのも事実。授業とバイトの両立がうまくできないと、「卒業5ヵ年計画」とかになるかもしれません。



【学年歴(平成27年度)】

春学期(4月1日~9月30日)

| | | |
|----|---------------|-------------------|
| 4月 | 学年開始 | 4月1日(水) |
| | 春季休業 | 4月1日(水)~4月5日(日) |
| | 入学式 | 4月6日(月) |
| | 新入生履修ガイダンス | 4月7日(火) |
| | 新入生オリエンテーション | 4月8日(水)~4月9日(木) |
| | 春学期授業開始 | 4月10日(金) |
| 5月 | 春季スポーツデー | 5月16日(土)~5月17日(日) |
| 6月 | 春ABモジュール期末試験 | 6月25日(木)~7月1日(水) |
| 8月 | 春ABCモジュール期末試験 | 7月31日(金)~8月6日(木) |
| | 春学期授業終了 | 8月6日(木) |
| | 期末試験予備日 | 8月7日(金) |
| | 夏季休業 | 8月8日(土)~9月30日(水) |

秋学期(10月1日~3月31日)

| | | |
|-----|---------------|-----------------------------------|
| 9月 | 秋学期入学式 | 9月下旬(予定) |
| 10月 | 秋学期授業開始 | 10月1日(木) |
| | 開学記念日 | 10月1日(木) |
| 11月 | 学園祭 | 11月6日(金)~11月8日(日) |
| | 秋季スポーツデー | 11月14日(土)~11月15日(日) |
| 12月 | 秋ABモジュール期末試験 | 12月22日(火)~12月28日(月) ^{※1} |
| | 冬季休業 | 12月29日(火)~1月6日(水) |
| 2月 | 秋ABCモジュール期末試験 | 2月10日(水)~2月16日(火) ^{※2} |
| | 秋学期授業終了 | 2月16日(火) |
| | 期末試験予備日 | 2月17日(水) |
| | 春季休業 | 2月18日(木)~3月31日(木) |
| 3月 | 卒業式 | 3月25日(金) |
| | 学年終了 | 3月31日(木) |

※1 ただし12月23日の休日に当たる期末試験は12月16日に繰り上げて行う。
 ※2 ただし2月11日の休日に当たる期末試験は2月4日に繰り上げて行う。

Campus Life

卒業後の進路



大学院進学者からのメッセージ

村松 遼太 | 人間総合科学研究科 学校教育専攻



教育学は、ひろく「教育」を対象とする学問です。ここで言う「教育」を捉える視点は、哲学や社会学をはじめとした様々な学問分野に依拠します。教育学類では、この教育学を体系的かつ網羅的に学ぶことが

できます。私は現在、道徳教育学研究室で「情報モラル教育」について研究しています。情報モラル教育のような新しい研究分野は、分野の垣根を越えて取り組む必要があります。

筑波大学では、専門的な講義でも学類を越えて受講することができます。教育学を軸として、周辺の研究領域を学び、学問分野の重なりあいの中から自分の研究テーマと出会いました。皆さんもぜひ、教育学類に入学して、マルチでオリジナルな関心を探してみてください。

松原 悠 | 人間総合科学研究科 教育基礎学専攻



小学4年生の頃から教師になりたいと考えていました。中学生のときは中学校の教師に、高校生のときは高校の教師になりたいと考え、教育学類に入学しました。教育学類では、いままで経験的にしか知り、

語りうることのなかった、学校・子ども・教師のことを、理論的に捉え、考え直すことになりました。新鮮で、やりがいの感じられる過程でした。私の場合は、学びを深めるにつれて、教育学の研究を志すようになっていきました。教育学類には、教育学の幅広い範囲をカバーする先生方がそろっています。あなたが教育に対して考えていることを、教育学類の先生方は、必ずや親身になって掘り下げてくださいます。教育学類で、一度じっくり、これからの教育を考えてみませんか。

坂口 真康 | 人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻



私は「差別をなくすために教育には何ができるのか」について研究したいと思い、筑波大学に入学しました。そして、その思いは大学における学びの集大成である卒業研究において実現することができたと考えています。私が在籍した人間学類教育学専攻（現在の教育学類）においては、「大学生にそんな大それた研究はできない」という雰囲気はなく、自分が抱えている教育

に対する疑問を、思う存分突き詰めることができました。私が現在大学院で行っている研究も、大学入学以前から抱えてきた思いと卒業研究で導き出された成果が土台となっています。教育に対する情熱を持ちながらも、様々な観点から冷静に研究する。そんなスタンスを身につけることができるのが、教育学類での学びだと思っています。

林 裕行 | 教育研究科教科教育専攻



「卒業したら、すぐに高校の先生になる！」—教育学類に入学した当時、私はそう思っていました。大学院は自分とは無縁なもの、とまで思っていたというのが正直なところ

です。しかし、教育学類で多くの先生から、色々な角度から教育について学んでいくうちに、実際に教壇に立つ前に、もっと学ぶべきことがあるのではないだろうか、と考えるようになりました。現在は、教育研究科で社会科教育がどうあるべきかということについて、過去の事例を参考に研究を進めています。大学入学当初は、「とにかく先生になりたい」という思いしか持っていなかった私ですが、教育学類での4年間で、自分が将来教えることになる教科について、真剣に向き合う態度が培われました。4年間という短い時間の中で、将来につながる「変化」を起こしてくれるのが、この教育学類です。

卒業生の進路

教育学類は2011年3月に第一期の卒業生を送り出しました。前身である人間学類教育学専攻と同じく、社会の様々な分野に進んでいます。

下のグラフは、人間学類教育学専攻と教育学類の過去5年間の卒業生の進路先を示したものです。「就職」は、「企業・団体」「教員」「公務員」の3つに分けて示してあります。

このグラフからわかることは、大まかな傾向として、「就職」が50%程度、「進学」が30%程度、そして、「その他」が20%程度ということです。「その他」に含まれている学生の多くは、就職や進学の準備をする人たちですが、これらの人たちも次年度あるいは数年の内に、就職あるいは進学を決め、希望する進路先へと進んでいます。

最近の傾向としては、「進学」が増えていることが挙げられます。グラフからは読み取れませんが、進学者の中には大学院の修士課程を修了後、教員として就職していく人が数多く含まれています。また、大学院の博士課程に進学し、大学教員の道を選ぶ学生が多いことも、筑波大学の特徴です。

大学院進学

大学院進学者の多くは、同じ筑波大学の中で大学院に進んでいます。教育研究科は、2年制の修士課程で、特別支援教育専攻、スクールリーダーシップ開発専攻、教科教育専攻の3つの専攻を置いています。人間総合科学研究科は、博士課程で、教育学類に関係の深い専攻には、教育学専攻（博士前期課程）があります。前期課程修了時

には、教育基礎学専攻（博士後期課程）、学校教育学専攻（博士後期課程）、ヒューマン・ケア科学専攻（3年制博士課程）のいずれかへ進学できます。また、大学院進学者の中には、筑波大学のそれ以外の大学院に進学する人もいますし、他大学の大学院へ進学する人もいます。

大学卒業後の主な就職先

〈企業・団体〉

みずほ銀行/JR東日本/日本生命
三井住友銀行/アクセンチュア
キャノンマーケティングジャパン
三菱東京UFJ銀行/九州電力/商工中金
プリオコーポレーション/静岡銀行
山ニガス/みずほフィナンシャルグループ
しまむらグループ/三井物産
第一ゼミナール/四国電力/共同通信社
常陽銀行/住友不動産/熊沢書店
明治図書/全日空/秀英予備校
ベネッセコーポレーション/早川書房

〈教員〉

福岡県/大阪府/鹿児島県/滋賀県
山梨県/神奈川県/千葉県/茨城県
埼玉県/東京都/石川県/福岡県
愛知県/兵庫県/広島県/横浜市 ほか

〈公務員〉

北海道庁/福島県庁/愛知県庁
茅野市役所/つくば市役所/法務省
警視庁/茨城県警察本部/世田谷区役所
港区役所/水戸市役所/茨城県庁 ほか

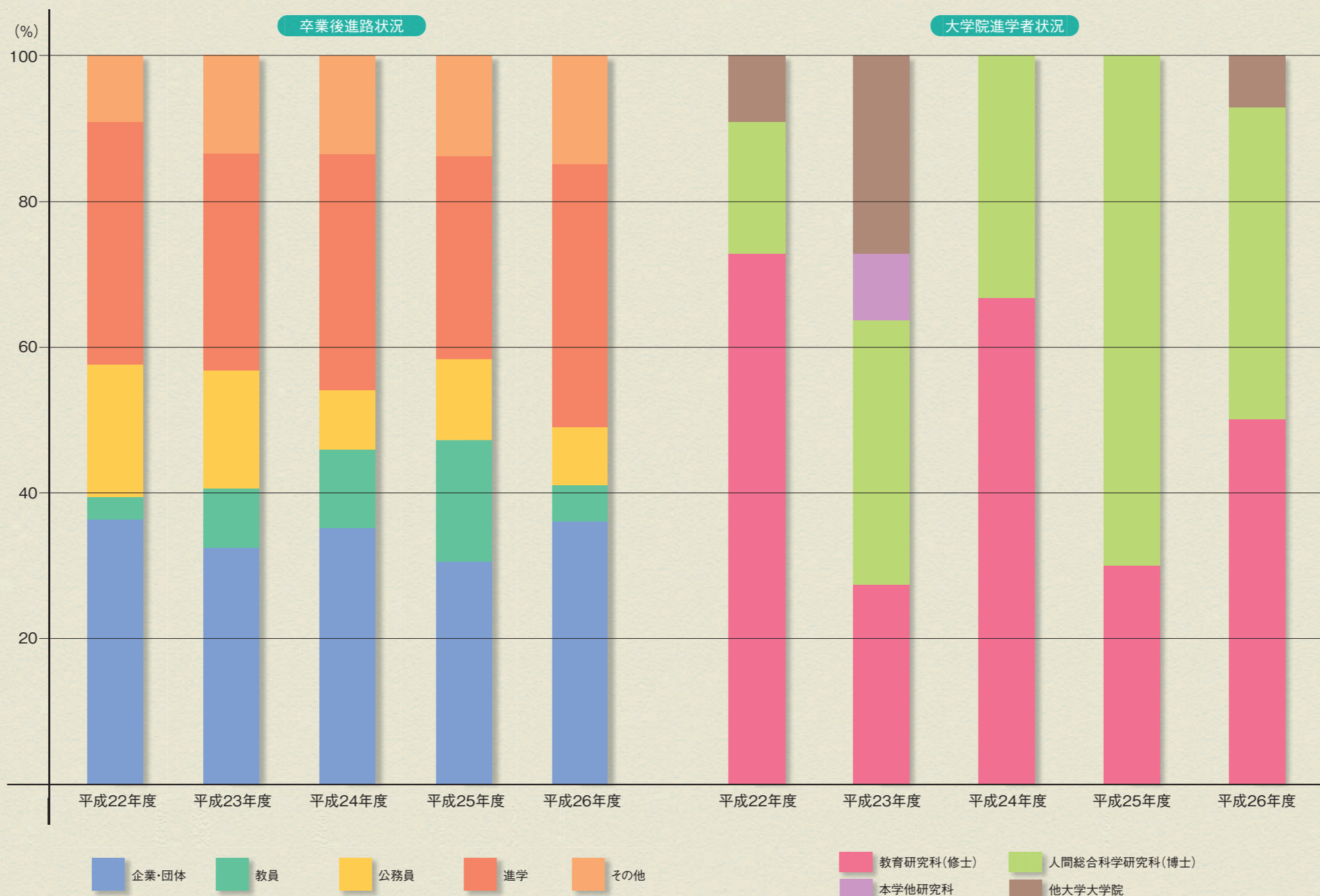
大学院修士課程修了後の主な就職先

〈教員〉

兵庫県/東京都/栃木県/青森県
香川県/静岡県/茨城県/埼玉県 ほか

〈公務員〉

横浜市役所/文部科学省 ほか



Q 教員資格はどのようなものが取得できますか。

A 教育学類の学生は、教職課程を履修し、教育職員免許法に定められた所定の単位(最低修得単位数)を修得することにより、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民)を取得することができます。その他、他学群・学類で取得できる免許状(国語、数学、理科、英語など)についても、筑波大学の場合、学群や学類の壁を超えて科目履修が可能のため、それぞれの免許状に必要な所定の単位を修得さえすれば、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の取得が可能です。

Q 留学することはできますか。

A 教育学類の学生は、人間学群が交流協定を結んでいる海外の大学への交換留学選考試験に応募することができます。交換留学のメリットは、(1)留学先で受講した授業が教育学類の授業として認定される、(2)筑波大学へ授業料を納入すれば、留学先へは授業料を納入する必要がない、の2点です。現在、人間学群の交流指定校には、ニューヨーク州立大学、マサチューセッツ大学など5大学があります。



マサチューセッツ大学

Q 転学群・転学類について教えてください。

A 転学群・転学類は、筑波大学に在学する第1・2・3年次の学生を対象に実施する制度です。筑波大学では、在学生の欠員状況等を考慮して、各学群・学類の受け入れ人数を決めています。選考は、第1次選考では、高校の成績・大学入試の成績・大学での成績により選考を行い、第1次選考の合格者に対して筆記試験及び面接の第2次選考を行い、最終的に転学群・転学類の可否を決定します。

Q 他学群・他学類の授業をどの程度受講できますか。

A 他大学の多くは、〇〇学部の授業は〇〇学部の学生しか受講できないというきまりを設けています。しかし、筑波大学の場合、所属以外の学群や学類の授業を比較的自由に受講できるのが特徴です。ただし、実験・実習の多くや一部の演習に関しては、実験・実習器具の数や部屋サイズなどにより制限が設けられている授業もあり、すべての授業を自由に受講できるというわけではありません。

Q 授業時間と授業の規模について教えてください。

A 授業は、75分授業です。8:40に第1時限が始まり、18:00に第6時限が終了します。授業の規模は、350人を収容する大教室での授業から、数名の出席者によるゼミ形式の授業まで、その目的や内容に応じてさまざまな形態があります。

Q 就職に関する大学のバックアップはありますか。

A 筑波大学では、「就職課」(大学の部署)や「全学就職委員会」(教員の組織)などが協力して、学生の就職の全面的なバックアップを行っています。卒業生を講師に招いた「就職説明会」や、在学中に企業で働くことを支援する「インターンシップ説明会」など、一ヶ月に数回のペースでさまざまな説明会が開催されています。また、最近では、インターネット上に「筑波大学就職情報提供システム」を設置し、学生へのさらなる就職情報の提供を行っています。



教育学類 Q&A



Q コンピューターを自由に使える部屋がありますか。

A 教育学類の学生は、規定の時間内なら自由にコンピューターを使用できる「人間サテライト」の利用が可能です。人間サテライトには40台の一般端末のほか、映像編集用端末やレーザープリンター等が設置されています。



Q 筑波大学の図書館について教えてください。

A 筑波大学の図書館の蔵書数は、全国有数です。また、図書館には、東京教育大学より受け継いだ教育学に関する図書が数多く所蔵されています。その中には、全国でも筑波大学にしかない貴重な図書も少なくなく、それらの本を読むために、全国より多くの教育学者・大学院生が日々訪問しています。

Q 学生宿舎やアパートについて教えてください。

A 新入生は学生宿舎に優先的に入居できるように配慮されています。学生宿舎のすぐそばに共用棟があり、食料品・雑貨の販売、食堂、浴場等が配置されています。学生宿舎の利用にかかる金額は、月額1万円程度です。また、アパートを利用する学生もたくさんいます。大学周辺にはアパート・マンションが立ち並んでいますが、金額は学生宿舎に比べると高く、月額4万円～6万円程度です。

Q 教育学類生はどのくらい仕送りしてもらっていますか。

A 教育学類生に限らず筑波大学生の多くは、保護者からの仕送りで学生生活を送っています。アパート代、食費、交際費、書籍代等を含めると、最低でも一ヶ月に10万円程度は必要でしょう。(学生宿舎に入居すれば、その金額は抑えられます。)仕送りを少しでも抑えるために、学生は勉強に悪影響を及ぼさない程度にアルバイトをしています。週に2・3回、月額で2～4万円程度のアルバイト収入を得るのが一般的です。

Q 部活動やサークル活動について教えてください。

A 学術・研究のみならず、スポーツ・文化・芸術の分野においても伝統校である筑波大学には、さまざまな課外活動団体があります。それらは、大きく「体育会(約50団体)」「文化系サークル(約50団体)」「芸術系サークル(約30団体)」の3つに分けることができます。多くの学生がこれらの課外活動に参加し、授業に出席するだけではできない、学群・学類の枠を超えた友人のネットワークを築いています。



Q どのような奨学金を利用することができますか。

A 教育学類生に限らず筑波大学生の多くが利用しているのが、日本学生支援機構(旧日本育英会)による奨学金貸与事業です。この奨学金は、第一種奨学金(無利子)と第二種奨学金(利子付)に分けられます。第一種奨学金の金額は、45,000円(自宅通学)・51,000円(自宅外通学)、第二種奨学金の金額は30,000円・50,000円・80,000円・100,000円・120,000円のなかから自宅・自宅外にかかわらず選択することができます。筑波大学では、入学後にこの奨学金の説明会を実施しています。



筑波大学 学群入学試験に関する お問い合わせ先

筑波大学 教育推進部 入試課 入試第一係

〒305-8577

茨城県つくば市天王台1-1-1

Tel. 029-853-6007

Fax. 029-853-6008

<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/index.html>